

講師見習いを経験して得た「学び」



社会福祉法人
内野会

SINCE 1981

特別養護老人ホーム **本陣園**

機能訓練指導員(作業療法士) 川端俊祐

はじめに

- 令和4年度ノーリフティングケアマネジメント研修にて、2～3期生を対象に講師見習いとして研修をサポートさせていただきました。
- 「他施設へノーリフティングケアを指導する」という貴重な体験を通じて得られた経験や気づき、視点の変化などを報告させていただきます。

研修前の不安

- 指導するからには、その内容は自身や自施設で実践できていないといけません。(他の施設へ教えているのであればなおさら…)
- 3回目となる研修で、しかも今回は教える立場。わかりませんでは恰好が悪い…
- 施設を代表しているプレッシャー



指導できるレベルまで達しているかが一番の不安…

不安そうに教えては説得力は半減…
正しい知識や豊かな経験のもと、自信をもって教育することが重要

研修中の「気づき」 講師見習いと現場での実践の両立

- メイン講師の安武さん、サブ講師の山形さんの動き方を参考に指導。
⇒議論を解決の方向へ上手く導く様子が参考になり、研修中の指導、さらには現場での実践にも大いに役立ちました。

円滑な実践には「教え方」を学ぶことが重要！



なるほどこうやって教えるのね

研修中の「気づき」 教えることで身につく技術

- 講師見習いの経験と似た感想を覚えたのは「令和3年度ノーリフティングケア技術習得コース」で抱えない介護技術を学んだ時でした。
- 適切な「教え方」と介護技術を身につけて実践に臨むことで、それまでと比べてはるかに現場へ浸透しやすくなりました。
- また、繰り返し教えることで自身の技術もより確かなものへ！

教える経験を積むことで**自身と現場が成長する好循環！**



講師見習い
のときと同様、
教え方に注目し
て技術を身に
着けました！



繰り返しの教
えることで徐々
に自信をもっ
て伝達できる
ように！

「講師見習い」で得られた視点

◎ 講師として加わった際の議論

△ 本陣園での議論

このようにすれ
ば良いのでは？



〇〇を解決する
にはどういった
手段が考えられ
ますか？



自分たちで考えさせ、解決までの道筋を立てる経験を重ねてもらうことで、マネジメントする力をつけてもらう **人材育成の視点**

「人材育成の視点」を実践に生かす

- 現場で実践する腰痛予防委員会メンバーの成長を促進！共に考え、悩みながら実践し続けます！
- 組織内の様々な課題を、中心となって解決してもらいながら経験を積んでいってまいります。



マネジメント力のある人材を育成し、本陣園の隅々までノーリフティングケアを普及させ、**腰痛のない、労働安全衛生水準の高い施設**を目指していきます！

まとめ

- 教える経験を繰り返し、その技術を洗練することで自身と施設の成長を促します。
 - 人材育成の視点を常に持ち、ノーリフティングケアのマネジメントができる職員を増やしていきます。
- 併せて…

考えさせ、教えさせ、指導者となる人材をどんどん育成することが重要！

同じ方向に向かって頑張る皆さまの姿が良い刺激になります！

え？こんなスゴイことやってんの？！

ヤバい！負けてる！

この部分はウチのほうが上手くやってる♪

